

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

にじいろ保育園川上町

横浜市戸塚区川上町 88-1

運営主体：株式会社 サクセスアカデミー

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
分類別評価結果	4～16 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	17～23 ページ
利用者本人調査分析	24～25 ページ
事業者コメント	26 ページ

公表：2011 年 6 月 28 日

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	にじいろ保育園川上町（保育所）		
事業所への 報告書提出日	2011年4月13日	評価に要した期間	約8ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

評価方法

1、自己評価 実施期間 2010年9月上旬～12月上旬	<p>職員会議等で趣旨を説明し、期限を決め、全ての職員が個々に自己評価票に記入した。</p> <p>各個人が記入した自己評価票を持ち寄り、一項目ごと意見交換しながら、各クラスで検討した。</p> <p>その結果をもとに、園長・主任・各クラスリーダー・栄養士・看護師が集まり、一項目ごとに意見交換しながら、園長が最終確認し、園として一つにまとめた。</p>
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2010年12月1日～12月14日	<p>全園児の保護者（83世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
3、訪問実地調査 実施日：第1日 2011年2月8日 第2日 2月10日	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。 昼食：乳児・幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：乳児・幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名、看護師、栄養士、非常勤職員、主任に個別に面接調査。 その後、園長・主任・法人本部職員2名に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
4、利用者本人調査 実施日：第1日 2011年2月8日 第2日 2月10日	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

「にじいろ保育園川上町」は、JR東戸塚駅西口のロータリーから1~2分の地下1階地上5階建ての商業ビルの2階にあります。園庭はありませんが、屋上に園が使用できるスペースがあり、保育士の見守りのもと、プランターで野菜や草花を育てたり、夏にはプール遊びをしたりしています。ビルの他の階には医院や美容院、企業の事務所等が入っています。バス通りに面したにぎやかな場所にあります。徒歩圏内にいくつも公園があり、自然とのふれあいもできる環境です。

2008年（平成20年）4月に、0歳から5歳まで定員90名で開設された認可保育所です。開園時間は平日午前7時~午後8時、土曜日は午前7時~午後6時です（延長保育時間を含みます）。

運営法人は、株式会社サクセスアカデミー（以下運営法人）です。運営法人は保育園・学童クラブ・児童館の運営、病院・企業・大学内の保育受託サービス、保育運営施設のコンサルティングサービス等を、首都圏を中心に展開しています。現在、運営法人直営の「にじいろ保育園」は22園となっています。

保育理念は「みんなが輝く社会のために」として、「陽だまりのような保育園」「地域と共に育つ保育園」「子どもとともに輝いていける保育園」を掲げています。

保育目標は、保育理念に基づき「~みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛~信頼・安定・共感」とし、具体的に以下の6項目、自然を愛し、心身共に健康な体 意欲と根気のある子ども 「仲間」と関わり、人を思いやれる心 想像し考えて行動する子ども 自己を表現できる子ども 基本的生活習慣を身につけ、健康で元気に遊ぶ子ども としています。

高く評価できる点

1、子どもたちは、大きな家族のように仲よくのびやかに過ごしています

園内は広いワンフロアで開放的な雰囲気です。ドアや棚、パーテーション等で仕切って各クラスを構成しています。

登園するとクラスごとの朝の会が始まる前に、0、1歳児と2~5歳児に分かれて隣り合った部屋に集まりますが、0、1歳児の部屋へ幼児が来て遊びを教えたり絵本を一緒に見たりして、本当の兄弟姉妹のように過ごしています。保育中も隣の部屋からリズム遊びの音楽が聞こえると、保育士も一緒に行き参加することもあります。ごっこ遊びでも「買い物に行つて来ます」と袋を持って出て行き、他の部屋に行ったりしますが、保育士はそれを把握し見守っています。散歩に行くときや公園で遊ぶときもいつも同じ組み合わせではなく、臨機応変に交わっているので異年齢で自然に仲よく過ごしています。

園は「一人ひとりの気持ちに寄り添った保育」「待たすことのない保育」に取り組んでいて、子どもたちの意見を取り入れて何をするかを決めることも多く、子どもをいたずらに待たせることもありません。子どもたちは受容され愛情をもって保育されているので、調査員へのふるまいにも人懐っこさ、素直さが見られました。一方、手洗いの方法やトイレの履物をそろえることなどマナーも身に付き、自分勝手ではないのびやかな子どもが育っています。

2、職員はチームワークよく、それぞれの役割を果たしています

園では毎日のミーティングやクラス会議、月1~2回のリーダー会議、月1回の給食会議、月2回の職員会議などを大切にして活発な意見交換をしています。特に毎日の昼のミーティングは、何でも言える雰囲気づくりを大事にしています。また、こういった会議の記録も丁寧に取り、大学ノートが何冊にもなって全職員が共通理解できるようにしています。

実際の保育場面でも、給食のときや公園遊びのときなどの保育士の連携はよくできていて、安全で子どもたちが待たされることを最少にするように工夫しています。

園長は職員の意見を十分聞いた上で方針を出し、主任はそれを補佐して職員が話しやすい雰囲気を作っています。クラスリーダーも自覚して、園全体を視野に入れていきます。新任保育士には、クラスリーダーが保育業務をきめ細かく指導していますし、新任保育士もきびきびとがんばっています。看護師はクラスに入り保育にも関わりながら看護師としての業務をする日を設け、子どもたちの健康や衛生に配慮しています。栄養士は献立を工夫し、ランチルームの掲示物を作ったり食育を進めたり、調理師と共においしい給食の提供に心を配り、アンケートでも保護者の給食に対する満足度は高いです。毎月、月の予定や絵本のお話をしている園長の「にじいろだより」、各クラスの様子分かる保育士の「クラスだより」、専門の話題を載せた看護師の「ほけんだより」、栄養士の「給食だより」は読みやすいです。

それぞれの職員が役割をしっかりと果たしながら、常勤・非常勤の区別なくよいチームワークで保育にあたっていて、運営法人本部もスーパーバイズや多くの研修の機会を設けてこれを支え、開園から3年目でまとまりのある職員集団となっています。

3、よりよい保育の環境作りに、日々取り組んでいます

園内研修のテーマを「環境設定」として、全職員で取り組んでいます。子どもが主体となる生活の場として「ぬくもりのある保育園」を目指し、木製の家具を多くするばかりでなく布製のタペストリーや名札、ウォールポケットなど園長が率先して手作りしたり、壁面にその場所にふさわしい掲示物を作成したりしています。

また、子どもたちが安全で楽しめる場所になるように、保育室内の動線を考えて家具の配置を工夫し、動と静のスペースを作ったり、いろいろな遊びのコーナーを作ったりして環境を変え、変えた理由や変えた前後でどう変わったかを記録しています。

これらのことを決められた会議日だけでなく、日々話し合い実践して、でき得る限り最善の環境を作り上げていくように努力しています。

改善や工夫が望まれる点

1、保護者とのよりよい協力関係に向けて、更なるコミュニケーションの積み重ねを

園は保護者と協力して子どもの発達を保障する姿勢をもって保育にあたっています。園だより等を定期的に発行したり、必要なことを連絡帳や掲示物、送り迎えのときなど知らせたりして情報提供をし、懇談会や個人面談、相談の機会を設けて保護者とのコミュニケーションに努めています。

しかしながら今回の保護者アンケートでは、「年間の保育や行事についての説明」「保護者の要望が活かされているか」「園と保護者との連携・交流」について、中でも「送り迎えの際の情報交換などについて」不十分・不満であるという回答があります。これまでの園の努力が保護者に理解されていない面があるのはなぜか、情報提供の方法についてなど再度見直しが望まれます。保護者が納得でき、互いに協力関係が築けるようなコミュニケーションの確立をめざして、さらなるコミュニケーションの積み重ねが期待されます。

2、地域と関わり交流する機会の広がりを

園の周辺地域は商業ビルが建ち並ぶ駅前で、自治会などの活動は活発ではありません。そこで、近隣の保育園や学校とは交流を持ち、散歩や公園遊びで会う人とはよく挨拶を交わしたり、公園で「青空紙芝居」をして地域の親子連れにも見せたりしていますが、開設から3年目の現在は、地域とのつながりは、まだ多いとは言えません。

しかしこの1~2年で駅周辺のマンションの増加等、住民は増え、駅に隣接するビル内に戸塚区地域子育て支援拠点「とっとの芽」も開設されたりと取り巻く状況も変化しているので、こういった施設と連携したり、園の専門性を活かした地域支援をしたりするなど、地域と交流する機会が広がるのが期待されます。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。




「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・にじいる保育園全園の共通の保育理念は、 ～みんなが輝く社会のために～ 1. 陽だまりのような保育園 2. 地域と共に育つ保育園 3. 子どもとともに輝いていける保育園 <p>にじいる保育園全園の共通の保育目標は、保育理念に基づいて「～みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛～ 信頼・安定・共感」自然を愛し、心身共に健康な体 意欲と根気のある子ども 「仲間」と関わり、人を思いやれる心 想像し考えて行動する子ども 自己を表現できる子ども 基本的な生活習慣を身につけ、健康で元気に遊ぶ子ども</p> <p>を掲げ、利用者本人を尊重したものとなっています。さらに現在、理念・目標に沿って、園独自の目標策定に取り組んでいるところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育理念・保育目標・基本方針は、全職員に配付している業務マニュアル「保育ガイド」に明記しており、運営法人本部の新人研修や、園内の職員会議等で再確認し実践しています。また、玄関や保育室等に掲示して意識の浸透を図っています。 ・保育課程は、職員会議等において全職員が関わって作成しています。園は交通量の多い駅前通りに面していると同時に、徒歩圏に豊かな自然が残されているという環境を把握し、自然や地域とのふれあいを大切に考えて作成しています。 ・保護者の就労等の状況に応じ、保育時間を考慮して、指導計画に「延長保育、長時間保育」の項を設けて、職員が配慮することを検討し、共通理解を図っています。 ・保育課程に基づき年齢ごとに指導計画を作成しています。乳児の指導計画は、月ごとに個別にも立案しています。幼児の指導計画は、散歩の行き先・行事の出し物・公園での遊び等に、子どもの意見を尊重した指導計画となるよう配慮し、柔軟性を持たせています。言語化できない子どもについては、表情や身振り等から、気持ちを汲み取れるように努めています。

- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。



- ・入園前に園長・主任・担任が面接を行い、必要に応じて看護師・栄養士も加わり子どもの様子や親子間の様子も把握するようにしています。面接時に子どもの呼び方を確認し、保護者の理解を得て家族と同じ呼び方をすることで、子どもが安心できるように配慮もしています。
- ・調査票、離乳食の様子、アレルギーの有無等を記入して提出してもらい、子ども一人ひとりの成育歴や家庭の状況を把握しています。
- ・入園前の面接で、短縮保育(ならし保育)が園に慣れるために重要であることを説明し、理解してもらっていますが、保護者の都合も考慮しながら柔軟に日程を決めています。
- ・新入園児に対しては主担当保育士が決まっていて、安心して園生活が過ごせるように、できる限り個別に対応するように配慮しています。
- ・在園児においては、進級の際に期待感が持てるように言葉かけをしています。幼児クラスの指導計画の中でも、新しいクラスの環境になじめるように配慮し、実践しています。
- ・毎日のミーティング・クラス会議・職員会議等で、一人ひとりの子どもの様子を話し合い、指導計画の作成・評価・見直しを頻繁に行っています。


- 3 快適な施設環境の確保




- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。


- ・オフィスビルの2階全体ワンフロアが園舎となっていて、陽光を十分取り入れ、全体に明るく広々としたフローリングのオープンスペースとなっています。
- ・清掃はマニュアルに沿って行き、チェックリストの記入をし、常に室内外を清潔に保っています。さらに観葉植物や布などを利用して、温もりのある環境作りに努めています。
- ・24時間の換気設備があり、空気清浄機、加湿器を設置しています。自然の通風に関しては、ビルの2階にあるため安全性を考慮して、散歩中や午睡中に窓を開けて換気をしています。各部屋に温度計・湿度計を設置し、それを基にエアコンや加湿器を使用して、子どもたちが快適に過ごせるようにしています。
- ・保育室は明るく、窓際には物を置かないようにして、陽光を十分取り入れるようにしています。
- ・沐浴設備と温水シャワーの設備があり、チェックリストを作成し、清潔を保つために毎日清掃をしています。安全にも配慮し、沐浴室には、子どもだけで入らない様に鍵をかけてあります。
- ・乳児は発達に応じたグループ分けを行い、少人数でコーナー遊びを行っています。幼児も、子どもの状態や要求に合わせて、ままごと、ブロック、絵本、製作等のコーナー遊びができるように環境を整えています。
- ・0歳児室は独立していますが、1~5歳児室は保育室がオープンな造りを活かして、子どもたちは自由に行き来し、異年齢の関わりを持っています。
- ・平成22年度の園内研修を「環境設定」として、安全で楽しく利用しやすい場所になるように話し合っています。子どもたちの動線を考慮して、家具の位置やコーナー遊びの内容を工夫改善したり、掲示する

	<p>作品や、タペストリーなどを工夫して作ったりしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士は必要以上に大きな声を出さず、語りかけるような言葉かけをしています。保育室は開放的なので楽器の音や歌声等は聞こえますが、気にはなりません。各クラスの活動内容にも配慮し合い、保育士は話し合いながらお互いのクラスで音が邪魔にならないよう、連携しながら柔軟に対応しています。
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>  <p>(1)子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2)子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0、1歳児については、個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題のある場合には個別指導計画を作成しています。その際、保護者と必要に応じて面談し、情報を共有しながら意見・要望を聞いています。 ・毎日のミーティング、クラス会議、職員会議等で子どもの発達状況に合わせ、頻繁に計画を見直し変更しています。 ・子どもや家庭の個別の状況は、入園時に提出してもらう児童調査票で把握し、ファイルして保管しています。子どもの発達記録は、児童票に記録し個別にファイルしています。また、個人面談等の記録も所定の用紙に記録し、ファイルしています。 ・年長児には、子ども一人ひとりの写真付きアルバムを作成し、成長の記録として卒園時に保護者に贈呈しています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  <p>(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(4)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもを受け入れていて、必要に応じて職員間で話し合い、共通理解のもと、対応しています。 ・職員は積極的に外部研修へ行き、最新の情報を得られるようにしています。研修参加後は研修報告書を提出し、職員会議等で報告し保育に活かしています。また、月に一度、園に巡回に来ている臨床心理士から配慮を要する子どもについて助言を受け、職員間で対応を検討しています。 ・園内はバリアフリー対応で段差がなく、車椅子対応トイレも完備しています。園はビルの2階にあり、玄関ホールまで階段を上り下りする必要があります。ただし、歩行に障がいのある子どもを受け入れた場合、職員が支援する体制を作る用意があります。 ・障がい児保育について、全職員で学習し話し合える体制ができています。必要な知識・情報については、外部研修等に積極的に参加して最新のものを得て、障がいの特性を考慮した個別指導計画を立てています。 ・アレルギー疾患がある子どもについては、かかりつけ医の診断に従って適切に対処しています。 ・アレルギーについての外部研修に参加したり、看護師・栄養士から、全職員に知識や情報を共有しています。 ・食物アレルギーの子どもには、除去食対応シート等を用いて、栄養士・担当保育士が保護者と面談し、連携を密にして対応しています。アレルギー食の提供に際しては、トレー・食器を別にして記名し、間違いのないように必ず給食室でも保育室でも確認し合っています。除去食で栄養上問題があるようなときは、卵料理を豆腐料理に替えるなどの代替食を提供しています。また、提供の際は他の子どもとの違いが目

	<p>立たないように、形状が同じになるように配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の異なる子どもについては、生活習慣や考え方の違い等を尊重し、環境に慣れるように柔軟に対応しています。食事作法の違い等についても認めた上で日本の習慣についても話しています。言葉での意思疎通が困難な場合、なるべく身振り手振りを交えてコミュニケーションを図るようにしたり、保育士が簡単な言葉を覚えたりして対応しています。
<p>- 6 苦情解決体制</p>  <p>(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決のシステムがあり、第三者委員の連絡先や苦情受付担当者・解決責任者を明確にして入園前の説明会で保護者に知らせ、玄関ホールにも掲示しています。第三者委員として、地域の子育て事情に通じる主任児童委員が2人選任されていて、委員をまじえて要望や苦情等に対応する仕組みがあり、記録も整備しています。運営法人本部にも、苦情受付の窓口を設けています。 ・玄関ホールに「すまいるBOX」（意見箱）を設置し、意見・要望・苦情等を入れられるようにしています。保護者懇談会や運営委員会（保護者代表、第三者委員、園長、運営法人本部職員で構成）でも、要望や率直な意見を聴くようにしています。 ・要望や苦情があった場合には、直ちに全職員に報告し、原因・対応内容・再発防止等を検討し共通理解をしています。また、運営法人本部担当者に連絡・報告し、内容によっては運営法人本部と共に対応しています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 257 472 293">- 1 保育内容[遊び]</p> <div data-bbox="197 342 472 421" style="text-align: center;">  </div> <p data-bbox="119 441 557 557">(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p data-bbox="119 573 557 645">(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="119 663 557 779">(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p data-bbox="119 795 557 911">(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p data-bbox="119 929 557 1001">(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="119 1016 557 1088">(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="592 257 1477 512">・園内は広く、開放的な環境構成になっています。4歳児クラスと5歳児クラスの間は柵で簡単な仕切りをしているだけで、他のクラスも自由な時間にはドアを開けてあり、子どもたちは比較的自由に出入りし、幼児が乳児の部屋に見に行ったり、幼児クラスで毎週行っている音楽リズムに乳児が興味を持ち、保育士と一緒に来て参加したりしています。 <li data-bbox="592 528 1477 645">「環境設定」を今年度の園内研修のテーマとし、各クラスで保育室の環境づくりを見直し、子どもの状況に合わせた安全で楽しめる設定に工夫を重ねています。 <li data-bbox="592 663 1477 824">・各保育室とも、玩具や教材は子どもが自由に取り出せるように、子どもの目線に合わせて低い棚等に分類して置いてあります。また、棚等には、そこに置いてある玩具の名前や絵、写真等を貼り、取り出しやすく、片づけやすくしています。 <li data-bbox="592 842 1477 958">・年齢や発達に応じた絵本や玩具を選び、玩具は牛乳パックやペットボトルを再利用したものや、布等の温もりの感じられる手作りのものを多くそろえています。 <li data-bbox="592 976 1477 1137">・幼児クラスでは、廃材やクレヨン・折り紙・絵を描く紙・塗り絵等を常に用意して、自由に楽しめる環境を整えています。また、4・5歳児クラスでは、月2回講師を招いて造形活動を行い、表現することの楽しさを味わっています。 <li data-bbox="592 1155 1477 1451">・各保育室は畳やカーペット、机や椅子等を子どもの様子によって、遊びが展開しやすいように配置しています。観察時、3歳児保育室では、ブロックコーナーではブロックを魚等に見立ててつなげている子どもたち、ままごとコーナーではパーティの用意をしたり、スカートをはき、バッグを首からかけてお出かけしている子どもたち、また、ジグソーパズルを持ってきて机に向かって取り組む2人組、1人であやとりを楽しむ子どもと、様々な遊びが盛り上がっていました。 <li data-bbox="592 1469 1477 1720">・小動物等の世話に関心をもつように、クラスに図鑑を用意したり、保育士が昆虫の成長過程、脱皮の様子等を壁新聞にしたりしています。幼児クラスでは、カタツムリ・クワガタ・金魚、公園で見つけた蟻等の飼育をし、水槽の掃除も子どもたちが担当しています。1歳児クラスは、幼児クラスからカブトムシを借りてきて部屋で放したり触ったりすることで、虫に興味を持つようになりました。 <li data-bbox="592 1738 1477 1899">・幼児クラスでは野菜を苗から育てて図鑑で調べたり観察画を描いたりしています。5歳児クラスはバケツで稲を栽培し、屋上ではラディッシュと人参を育てています。2歳児クラスもトマトを育てて収穫し、味わいました。 <li data-bbox="592 1917 1477 2033">・天気の良い日は散歩に出かけ、近くの公園の広いグラウンド等で思いきり体を動かしています。状況によって午前と午後と2回散歩に出かけることもあります。 <li data-bbox="592 2051 1477 2078">・散歩や戸外活動で歩く力をつけるとともに、かけっこ、マラソン、ポ

<p>- 1 保育内容[生活]</p>  <p>(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。 (8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。 (9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。 (10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。 (11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。 (12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<p>ールや固定遊具を用いた遊びで、体力増進を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食べたい気持ちを大切に、0歳児クラスでは、手づかみ食べを十分にできるように見守りながら声をかけ、必要に応じて支援しています。 ・幼児クラスでは子どもたち自身で盛り付けできるもの(カレー、シチュー、野菜サラダ等)は自分で盛り付けるバイキング方式を取り入れ、食べたいという意欲を高めています。 ・新じゃが芋、そらまめ、冬瓜、ズッキーニ、きのこ等、季節の食材を献立に取り入れ、食材が分かるような切り方を工夫し、彩りや盛り付け方、子どもが食べやすい味付けを心掛けています。 ・幼児クラスでは、保育士と栄養士が協力して月1回クッキングを行い、食に興味・関心が持てるようにしています。ラッピングおにぎり、自分たちで掘ったじゃが芋のお焼き、型抜きクッキー、お月見団子等を作っています。 ・行事の際は部屋の仕切りを外して広くし、全園児と一緒に食卓を囲み、子どもたちが作ったランチョンマットを敷きます。七夕には星型の卵焼きやハムを添えたそうめん、クリスマスにはツリー型のミートローフ等が配膳され、普段と違った雰囲気を楽しんでいます。 ・ランチルームの壁や給食展示ケースの下に、食材や食品の産地を書いた地図や表を貼っています。子どもたちはその日の野菜の産地等に興味を持ち、地図や表で調べたりしています。 ・食材はできるだけ国産のもの、地域の業者と連携して地場のもの、そして旬のものを使用し、食の安全に配慮しています。冷凍食品は使用しません。 ・毎日の残食を確認し、残食の多かったものに関しては、次回の調理方法や味付けを変えるなどの工夫をしています。例えば、酢の物の残食が多かった場合、今回は酢を抑え、子どもの好きな主菜と組み合わせるような工夫をしています。 ・クラス懇談会の際に給食やおやつを試食会を行い、保護者に給食やおやつ量・味・盛り付け等を知ってもらうようにしています。また、嫌いなものをどのように食べさせているかなどについて、保護者同士の意見交換の場にもなるようにしています。 ・眠れない子ども・眠くない子どもには午睡を強要せず、柔軟な対応をしています。静かに絵本を読んでいる子どももいました。 ・トイレトレーニングは、保護者と連携し、園での排泄状況を連絡帳や口頭で伝え、保護者との話し合いの下に、協力して進められるように個別に対応しています。
--	--

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [健康管理]



- (1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・健康管理に関するマニュアルがあり、看護師を中心に園児の健康状態を把握しています。
- ・健康診断・歯科健診の結果は、当日に保護者へ書面で伝え、受診が必要な場合は、その後の様子を保護者に確認しています。
- ・感染症対策マニュアルがあります。また、入園のしおりには登園停止基準等、感染症についての記載があり、入園説明会の際に保護者に周知しています。
- ・保育中に感染症が発症した場合は、速やかに保護者へ連絡し、保護者の事情も考慮して柔軟に対応しています。また、その日のうちに玄関ホールとクラスに感染症の発症についてお知らせを掲示しています。
- ・月1回保健だよりを発行し、その時期に流行しそうな感染症の情報を保護者に提供しています。
- ・1歳児クラスから歯磨きを始めています。乳児クラスでは食後に保育士が仕上げ磨きをし、3歳児クラスでは、子どもが磨いた後、保育士が仕上げ磨きをしています。4,5歳児クラスは自分で歯磨きをしています。また、看護師が中心となって、幼児クラスで歯垢チェック液を用いて歯磨き指導を行っています。
- ・看護師や園長が、感染症の外部研修に参加したり、地域での感染症の発生状況を園医・本部・にじいろ各園等から把握したりして、最新情報を職員に伝えて共有しています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [衛生管理]



- (4)衛生管理が適切に行われているか。

- ・衛生管理マニュアルがあり、会議等で見直しを行っています。変更がある場合はにじいろ園長会議でとりあげて変更し、その後、各園で共有しています。
- ・嘔吐や下痢等の汚物処理に関する必要物品をまとめて各保育室に設置し、看護師を中心にして実地研修をして、適切に対応できるようにしています。
- ・各保育室・トイレ・調乳室等は、マニュアルに沿って掃除を行い、更に掃除チェックリストを用いてチェックし、常に清潔に保つように心がけています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6)事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。
- (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・安全管理マニュアルがあり、入社時や年度初めの研修で全職員に周知しています。
- ・火災、地震、不審者等を想定した避難訓練を毎月行っています。そのほか、年に一度、大災害を想定した避難訓練を行い、一次避難場所への誘導訓練を行っています。災害時の引渡し訓練では、保護者が災害伝言ダイヤルの使用方法を体験できるようにしています。
- ・全職員が運営法人主催の救急救命法研修を受講し、人形や訓練用のAEDで実際の場面を想定した訓練を受け、救急救命法を身につけています。
- ・子どもの怪我については、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告するとともに、全職員が周知できるようにその日のミーティングで伝え、ミーティングノートに記入しています。
- ・職員会議等で、事故報告書・ヒヤリハット報告書をもとに、再発防止について話し合いを行っています。また、系列園のヒヤリハット報告書も回覧し、同種の事故を防ぐようにしています。
- ・不審者等の侵入防止策として、玄関はオートロックにしている、保護者にインターフォンでクラスと名前を言ってもらい、モニターで顔を確認してから開錠しています。
- ・警備会社と契約していて警報機防災ブザーが設置され、緊急時には警備員が駆け付ける体制が整っています。
- ・横浜市や戸塚区、ビルの管理会社や本部より不審者に関する情報が寄せられる体制が整っています。

- 3 人権の尊重



- (1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (5)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・職員は子どもをせかしたりはせず、個々のペースや意思を尊重した保育を心がけています。穏やかで分かりやすい言葉を使い、一人ひとりの子どもの自主性を重んじるようにしています。
- ・保育室にコーナーを設置し、友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所を用意しています。
- ・守秘義務の意義や目的について、職員は入社時に研修を受け、機密保持誓約書に署名しています。実習生やボランティアも、これに署名し、厳守しています。
- ・保護者には、入園説明会の際に個人情報の取り扱いについて説明し、了解を得ています。子どもの画像に関しては、画像撮影承諾書・画像使用承諾書を提出してもらっています。
- ・虐待についてのマニュアルがあり、虐待の定義については全職員が周知しています。
- ・虐待が明白になった場合には、本部及び関係機関に通報・相談する体制を整えています。
- ・園では遊びや行事の役割、順番、グループ分け等で性別による区別をしていません。性別に関係なく個々に好きな遊びを楽しんでいます。



- 4 保護者との交流・連携




- (1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3)保護者の相談に応じているか。
- (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6)保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。



- ・園の理念や基本方針は保護者との懇談会で説明し、玄関ホール、各保育室に掲示しています。
- ・保護者と連携して保育を進めていくために、行事の後などにアンケートをとっています。アンケートの自由記述から保育方針が理解されているかどうかを把握するようにしています。
- ・子どもの送迎時には、担任以外でも対応できるように引き継ぎ表を利用して子どもの様子を伝えるようにし、保育士は日々保護者に声をかけるように心がけています。ただし、保護者アンケートでは、「送迎時に子どもの様子をもっと話してもらいたい」という声が寄せられています。
- ・個人面談は園児の保護者全員に年1回実施していますが、その他の時でも保護者の希望があればいつでも応じています。
- ・保護者との懇談会は年2回実施し、クラス全体の様子、子どもたちの成長の様子を伝えています。また、できるだけ多くの保護者が参加できるよう、土曜日に実施するように配慮しています。各クラスの懇談会には保護者のほぼ全員が出席しています。
- ・保護者からの相談には、時間帯や場所に配慮し、落ち着いて話ができるように必要に応じてランチルーム等を使用しています。面談の内容は守秘義務を厳守し、面談記録表に記録して継続的なフォローができるようにしています。
- ・園だより・クラスだより・給食だより・保健だよりを毎月発行しています。また、玄関ホールにクラスボードを掲示し、その日の活動内容や様子を伝え、他クラスの様子も見られるようにしています。
- ・各保育室に、散歩や造形等の活動中の子どもたちの写真にコメントをつけて掲示し、活動内容が分かりやすいようにしています。子どもたちの製作等は、展示コーナーを作って保護者が見たり触れたりできるようにしています。
- ・年間行事予定は、保護者の予定が立てやすい曜日等を考慮して計画し、年度初めに配付しています。また、行事予定の変更がある場合は、できるだけ早い時期に知らせるようにしています。ただし、保護者アンケートでは、「年間行事予定は年度初めにもらっているが、各行事の具体的な内容はもっと早く知らせしてほしい」「変更のお知らせはもっと早く、もう少し説明をしてほしい」という声が多くみられました。園の対応・努力が保護者に十分に伝わっていないようです。
- ・園と保護者との交流・情報交換について、園長交代や行事変更等の際には保護者との話し合いの機会を作ったり掲示等でお知らせをしていますが、保護者アンケートでは、「もっと園との交流・情報交換をしたい」という希望が多く寄せられています。今後、園と保護者双方が協力して、話し合いの場を積極的に作って行く取り組みの継続が望まれます。

評価領域 地域支援機能


評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回のリズム遊びには地域住民も参加し交流を持っています。その際にアンケートに記入してもらい、園への要望を把握しています。 ・気候の良い時期には月に1~2回公園で「青空紙芝居」を行い、地域の親子に声をかけて、園の子どもたちと一緒に見てもらっています。 ・戸塚区の幼・保・小教育連携事業の研修会等に参加して地域の子育て支援のニーズについて情報収集し、それをもとに職員会議等で年度末に話し合っています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談や園の行事、備品の貸し出しについての情報は、玄関前や近くのコンビニエンスストア、駅前掲示板、近くのスーパー内の掲示板等にポスターを掲示してもらって、地域住民に知らせています。 ・毎週火曜日に育児相談に応じられる体制をとっています。ただし、利用者は少ないので今後何らかの工夫が期待されます。 ・関係機関とは園長、主任が連携担当者となっています。 ・区福祉保健センター、児童相談所等の必要な関係機関の一覧表を作成し、全職員に周知しています。



評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・にじいろまつり・運動会等の園の行事の際は、地域の掲示板やお店等にポスターを掲示して、地域住民に参加を呼びかけています。にじいろ祭りには数組の親子連れの参加がありました。 ・地域住民から稲をもらって栽培したり、七夕の笹をもらったり、園で活用するダンボールの収集を地域のお店に協力してもらったりするなど、日常のふれあいを通して近隣との友好的な関係を築いているところです。 ・玄関外にポスターを掲示し、地域の団体に備品等の貸出を行っていることを知らせています。今年度は2件の利用希望があり、貸し出しをしました。 ・すぐ近くの消防署主催のふれあいフェアに、子どもたちが毎年参加して交流しています。


<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人本部のホームページや、地域の掲示版等で園の情報を提供しています。 ・園の利用希望者からの問い合わせがあった際に、園の見学ができることを知らせています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・実習生の受け入れマニュアルがあります。 ・ボランティアの受け入れは主任、実習生の受け入れは、園長が担当しています。 ・おはなしボランティアが月1回来園しています。また、運動会の際にもボランティアの協力があります。 ・実習期間中は毎日、クラスリーダーが実習生と振り返りを行い、実習最終日には、クラス担任・園長・主任・実習生で反省会を行っています。



評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人本部では保育理念や目標をよりよく理解できるように新任研修を行い、年に3~4回開催されるレベルアップ研修でも、理念・目標を十分に理解することを目指しています。また、園内でも毎日のミーティング等で常に振り返りをしています。 ・職員は、年度初めに目標を設定して業務確認シートに記入し、年度末に振り返り、自己評価を行っています。園長面接を年3回行い、自己評価をしながら目標達成に近づくよう努力しているほか、園長が随時、助言しています。 ・職員の研修ニーズに配慮し、年間の研修計画を作成しています。担当者は主任であり、研修に出やすいように勤務のシフト等の調整も行っています。 ・園内研修は、職員・非常勤職員共に参加し、毎年テーマを決めて実施しています。今年度は「環境設定」について取り組み、毎月1回会議を実施し、保育士全員で話し合いを重ね、日々実践しています。 ・職員は資質向上に向け、運営法人本部の新任研修・レベルアップ研修・職種別研修に参加するほか、外部研修として白峰学園保育センターや横浜市こども青少年局主催の研修等に積極的に参加しています。 ・にじいろ各園での実地研修や見学を行って、情報交換をして保育に活かしています。今年度から、系列園同士で職場を交換して実地研修を通して学ぶ機会を設けました。各園から1名ずつ、全体で20名程が参加し、最後に全体で振り返りもしています。 ・研修を受講した職員は職員会議等で必ず研修報告を行い、情報を共有しています。 ・園では、職員の希望も含めて研修成果の評価・見直しを行っています。

	<p>本部においては、園長会で研修について意見交換をして本部主催研修の見直しをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員にも業務マニュアル「保育ガイド」を配付しています。非常勤職員も常勤職員同様の自己評価を行い、クラス会議・園内研修等にも参加し、資質向上への取り組みを行っています。非常勤職員に対しては、主任を中心に指導助言を行い、コミュニケーションを図っています。連絡ノートを使用して丁寧に書き込み、連絡事項・引き継ぎ等をスムーズに行っています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で保育の振り返り・見直しをし、それをもとに個々の職員は、保育の質を高めるために毎年自己評価を行っています。運営法人本部の研修や外部研修等をもとに、さらに工夫をして保育に取り組むように検討し実践しています。園内研修としては、「環境設定」に日々取り組んでいます。 ・本部が外部委託をして月1回巡回を受けている臨床心理士に相談し、助言を受ける仕組みがあります。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育ガイド」に各職種の職員の経験・能力・習熟度に応じた役割が、期待水準として明文化されています。職員が年度末に提出した業務確認シートに、園長が「今後の課題・期待する業務」を記載し、面接時に伝え意識の向上を図っています。また、職員会議や日々のミーティング等で、業務改善の話し合いを行っています。 ・常勤・非常勤の区別なく話し合える職場の雰囲気作りに努めています。休憩室では職種を超えて交流しています。 ・運営法人本部は、職員満足度調査を実施したり、年1回の意向調査を行う際も職員の意見・要望を聞いたりしています。 ・園長は個別での面談や話し合いの機会を持ち、職員の満足度や要望等を把握するようにしています。また、園長・主任は毎日保育日誌に目を通し、保育士の心情や保育内容を把握し、フォローをしています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織や職員が守るべき法・規範・倫理等は職員に配布されている「保育ガイド」や「社員行動規範」に明文化されています。入社時の運営法人本部研修において、就業規則、保育士業務心得等の説明が行われています。 ・経営・運営状況等の情報は、本部で行うにじいる園長会議で報告され、各園に持ち帰り、園長から職員に周知徹底しています。事業計画書・報告書・収支計算書等を玄関ホールに置き、保護者がいつでも見られるようにしています。 ・ゴミ減量化・リサイクルの取り組みとして、ペーパータオルを半分にして使用したり、再利用できる廃材（牛乳パック・ペットボトル・トイレトペーパーの芯、裏紙等）を製作に使用して活かしたりしています。省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みとして、節電・

	<p>節水を心がけたり観葉植物を飾ったりしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書に「環境問題への取り組み」の一項を設け、子どもたちに物を大切にする気持ちを育むように援助することを明記しています。保育士は子どもたちと一緒にゴミを分別して捨てたり、おもちゃや絵本を丁寧に扱い修繕するなど実践化しています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や基本方針は「保育ガイド」に明文化され、全職員に配付されると共に、玄関ホールや各保育室に掲示してあります。また、年度末・年度初めの園長面接を通し、職員が保育理念・基本方針を理解し、保育業務に努めているか確認しています。 ・園長は日々の保育において気づいた事項を職員に伝え、保育方針の理解を促すとともに職員の相談に応じています。 ・重要な意思決定にあたっては、懇談会・運営委員会等において保護者と意見交換をしています。これまでに、園長交代や職員の異動、新型インフルエンザの対応としての登園自粛等について説明しています。職員や保護者に説明する際は、目的や変更等の理由、経過を口頭で説明し、さらに文書による連絡もしています。 ・運営法人本部で、スーパーバイズのできる主任クラス職員に対しての計画的な育成プログラムとして、主任研修を定期的に行っています。 ・主任は日々の保育の現場に入り、職員全体の様子を把握しながらアドバイスをしています。個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるように、シフト調整を行ったり、相談を受けやすいように配慮したりしていて、職員の話をよく聞いています。
<p>- 3 効率的な運営</p>  <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に関わる情報や課題は、主として運営法人本部が収集分析し、速やかに各園に配信する仕組みがあります。重要な情報は、にじいろ園長会議で議論され、その結果を各園に持ち帰り、園長から職員会議で報告し、全職員に周知しています。 ・本部が保育園経営の中長期計画を作成しています。中期達成目標を掲げ、市場の現況や行政の動向等を分析・協議し、中長期計画の策定に役立てています。 ・次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みについても常に検討しています。また、次代の施設運営に備え、主任、リーダー研修を行い、幹部職員を育成しています。 ・事業運営に関しては、金融機関や提携企業等の外部の専門家の意見や助言を取り入れるようにしています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2010年12月1日～12月14日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 86.7%（83枚配付、72枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...8人、1歳児クラス...14人、2歳児クラス...17人、3歳児クラス...13人、
4歳児クラス...10人、5歳児クラス...10人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、

「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

まとめ

・保育園の保育目標や園目標について、58.4%の保護者が「よく知っている」「まあ知っている」と答えています。そのうちの97.6%が「賛同できる」「まあ賛同できる」と回答しています。

・園の総合満足度は、満足が76.4%、不満は20.9%です。

・満足度が90%以上と高い項目は、「問2.入園時の状況：入園児の面接などで、お子さんの様子や成育歴などを聞く対応」「問4.日常の保育内容について：遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているか」「給食の献立内容」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「お子さんの体調への気配り」で、園が、園児の体調や食事によく配慮していることが伝わっています。

・不満が40%以上と多い項目は、「問3.年間の計画について：年間の保育や行事についての説明」「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか」「問6.園と保護者との連携・交流について：送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」です。

・自由意見欄には、新入園のときなど、「見学に行ったときの対応が丁寧」「とても分かりやすく説明された」と言う声が複数あります。園庭がないことも「毎日のように公園遊びをしてくれている」とプラスに受け止める声や、また、「担任以外の職員が子どもの名前を覚えてくれている」という喜びや感謝の声も多くあり、園が全職員で保育にあたる姿勢が理解されていることが表れています。

一方、要望として「行事の変更が直前で理由の説明が不十分」「担任変更などは早めに連絡を」「送迎時の情報交換をもう少し丁寧に」「園長先生と話す機会があまりない」「地域に関わる活動をもっとしてほしい」などの声が多くあります。施設面では、「自動ドアが開いているとき、誰でも出入りできるように心配」「(2階の)玄関までの屋根なし階段はバギーなどでは大変」という声や、「保護者もルールをきちんと守らなければ」という声も複数あります。

園は、保護者へのプリントや掲示物、懇談会などで情報を伝えています。今後はさらに、掲示物は見やすい場所に見やすく貼るなど、もう一段の工夫・努力が望まれます。

開設3年目で、これまで園長交代や、職員の異動が重なったこともあり、保護者への情報不足もあったようですが、現在は、全職員がチームワークよく保育にあたり、一つ一つの課題にじっくりと向き合っているところです。保護者や地域と協力しあって、子どもたちと一緒に育てる関係作りがより一層すすむよう、今後が期待されます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

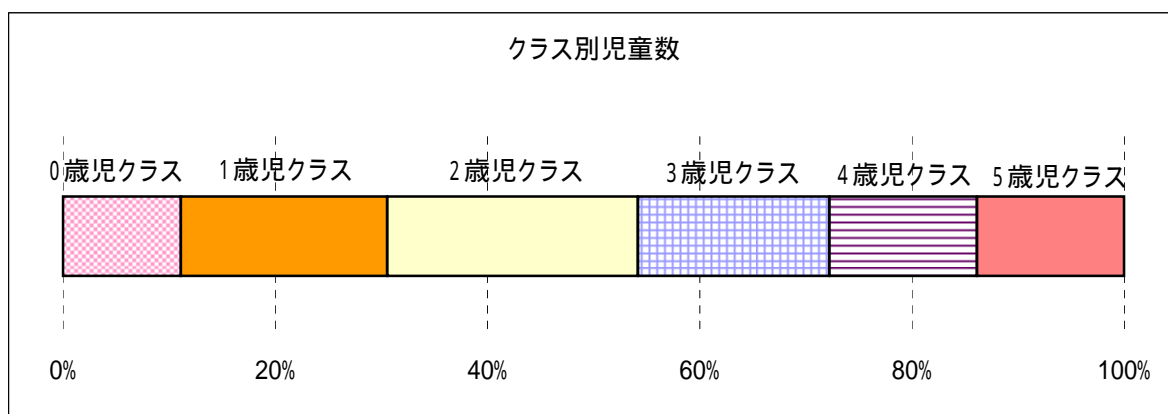
実施期間： 2010年 12月1日～14日

回収率： 86.7% （回収72枚 / 配布83枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
72	8	14	17	13	10	10	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



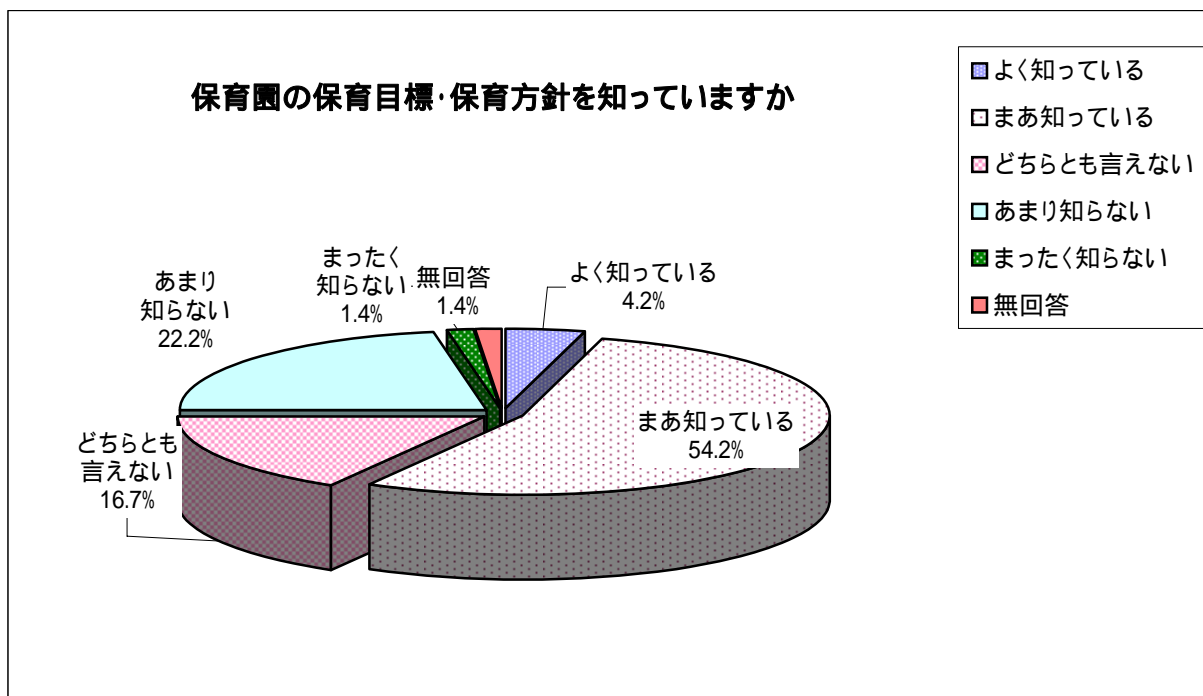
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	4.2	54.2	16.7	22.2	1.4	1.4	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

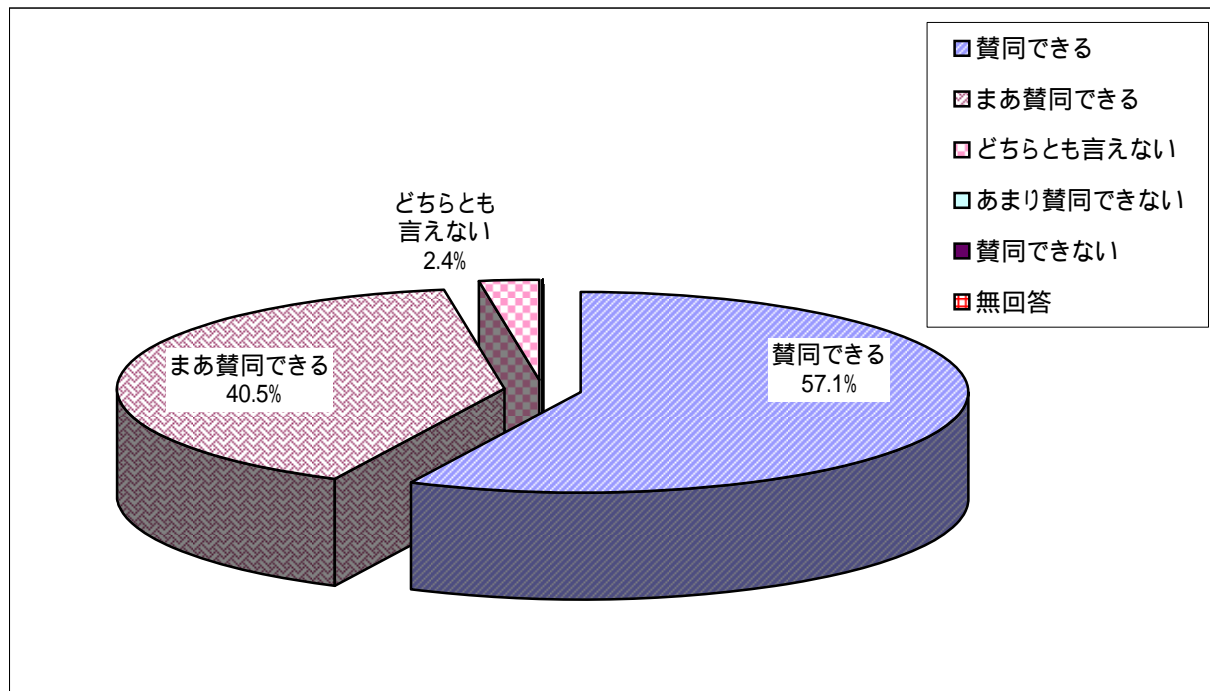


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	57.1	40.5	2.4	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

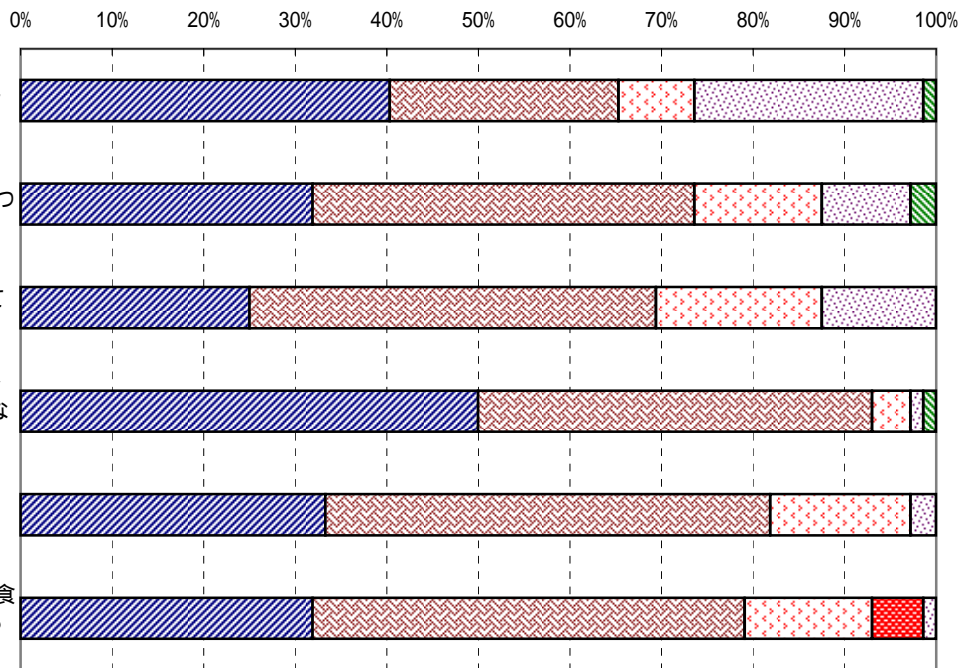
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	40.3	25.0	8.3	0.0	25.0	1.4	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	31.9	41.7	13.9	0.0	9.7	2.8	100
園の目標や方針についての説明には	25.0	44.4	18.1	0.0	12.5	0.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	50.0	43.1	4.2	0.0	1.4	1.4	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	33.3	48.6	15.3	0.0	2.8	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	31.9	47.2	13.9	5.6	1.4	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



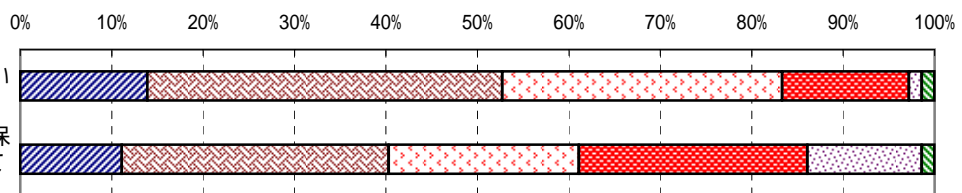
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	13.9	38.9	30.6	13.9	1.4	1.4	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	11.1	29.2	20.8	25.0	12.5	1.4	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



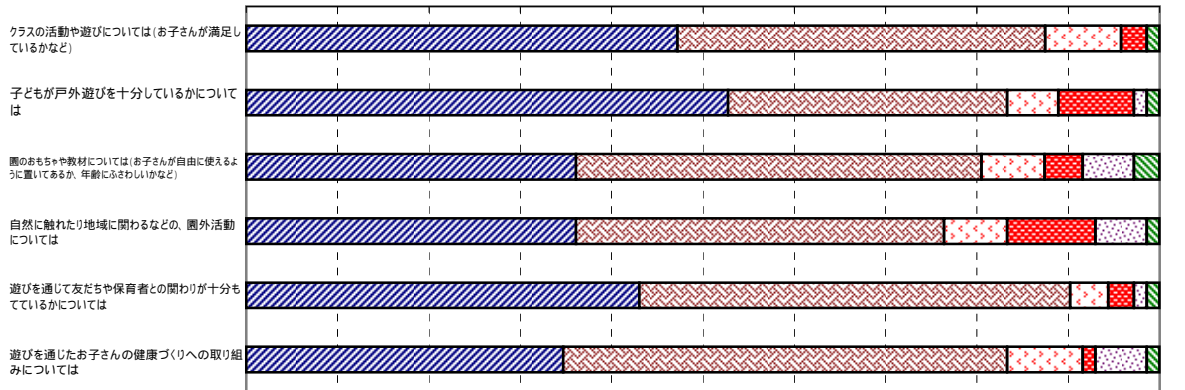
問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	47.2	40.3	8.3	2.8	0.0	1.4	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	52.8	30.6	5.6	8.3	1.4	1.4	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	36.1	44.4	6.9	4.2	5.6	2.8	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	36.1	40.3	6.9	9.7	5.6	1.4	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	43.1	47.2	4.2	2.8	1.4	1.4	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	34.7	48.6	8.3	1.4	5.6	1.4	100

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

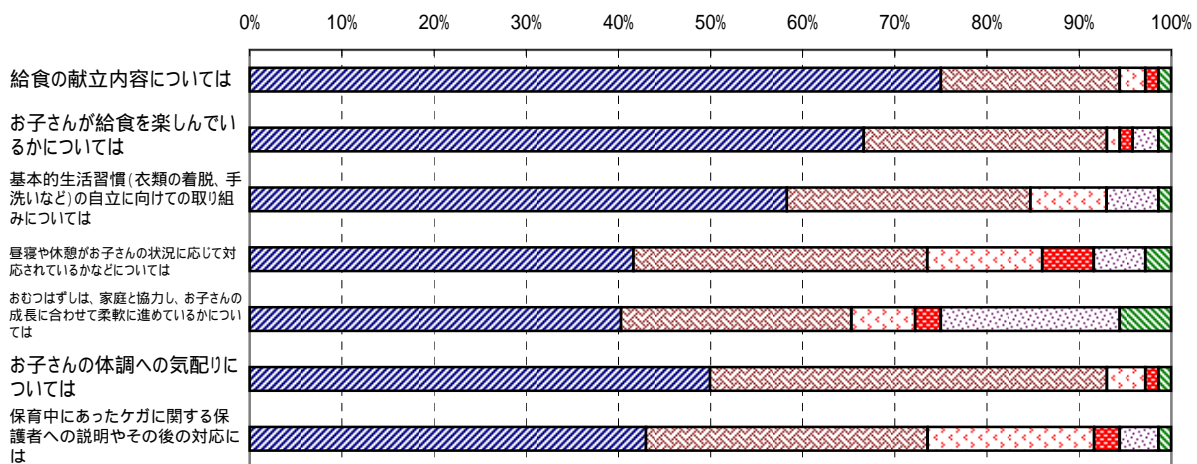


(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	75.0	19.4	2.8	1.4	0.0	1.4	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	66.7	26.4	1.4	1.4	2.8	1.4	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	58.3	26.4	8.3	0.0	5.6	1.4	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	41.7	31.9	12.5	5.6	5.6	2.8	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	40.3	25.0	6.9	2.8	19.4	5.6	100
お子さんの体調への気配りについては	50.0	43.1	4.2	1.4	0.0	1.4	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	43.1	30.6	18.1	2.8	4.2	1.4	100

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



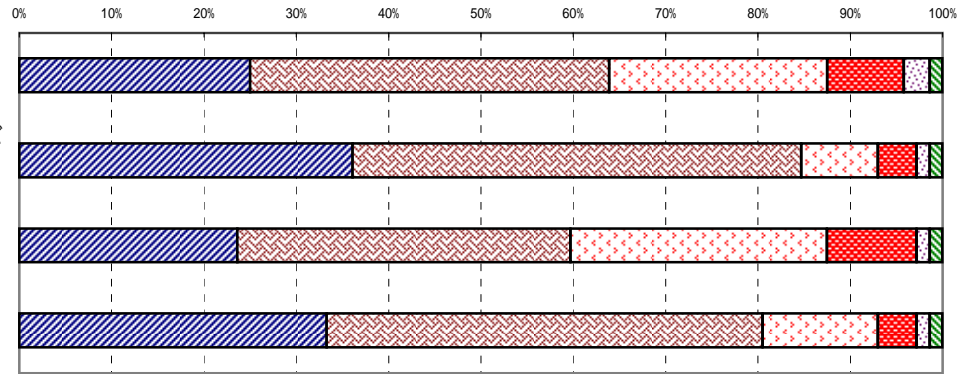
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	25.0	38.9	23.6	8.3	2.8	1.4	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	36.1	48.6	8.3	4.2	1.4	1.4	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	23.6	36.1	27.8	9.7	1.4	1.4	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	33.3	47.2	12.5	4.2	1.4	1.4	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



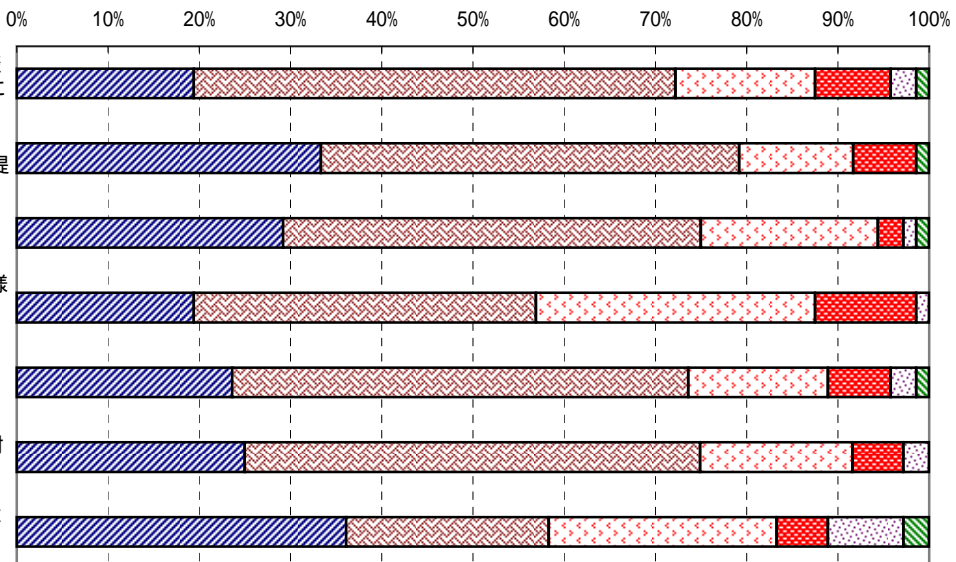
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	19.4	52.8	15.3	8.3	2.8	1.4	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	33.3	45.8	12.5	6.9	0.0	1.4	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	29.2	45.8	19.4	2.8	1.4	1.4	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	19.4	37.5	30.6	11.1	1.4	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	23.6	50.0	15.3	6.9	2.8	1.4	100
保護者からの相談事への対応には	25.0	50.0	16.7	5.6	2.8	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	36.1	22.2	25.0	5.6	8.3	2.8	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問7 職員の対応について

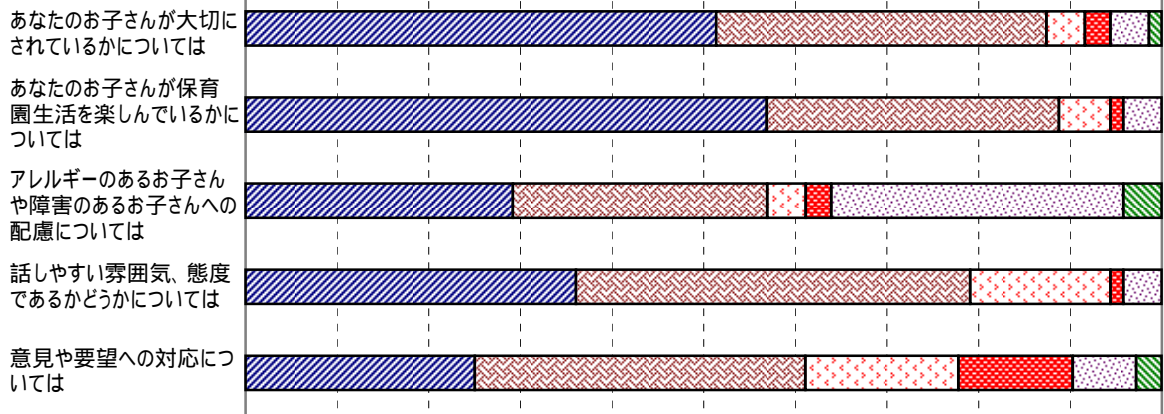
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	51.4	36.1	4.2	2.8	4.2	1.4	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	56.9	31.9	5.6	1.4	4.2	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	29.2	27.8	4.2	2.8	31.9	4.2	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	36.1	43.1	15.3	1.4	4.2	0.0	100
意見や要望への対応については	25.0	36.1	16.7	12.5	6.9	2.8	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

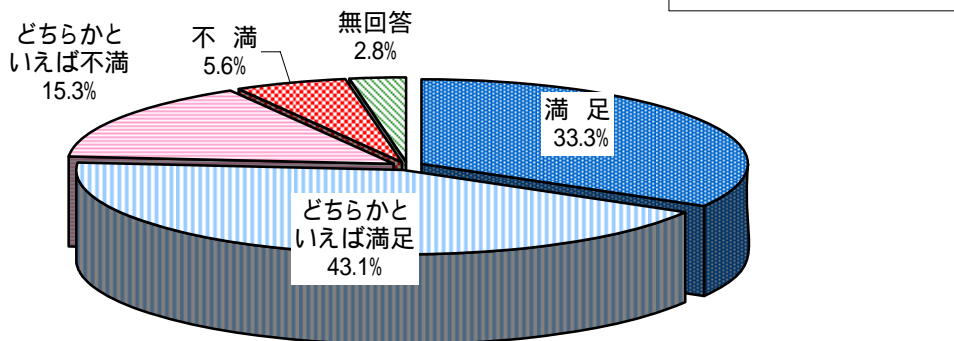
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	33.3	43.1	15.3	5.6	2.8	100



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 2011年2月8日（火）8：50～13：00 2月10日（木）8：15～17：00
観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

朝の合同保育

毎朝9時までは、0・1歳児と、2～5歳児が、それぞれ隣り合った2部屋に分かれて遊んでいます。2つの保育室の仕切りはお互いに向こう側が見える低いパーテーションですが、一部が更に低くなっていて、両方の部屋の共通窓のように、子どもたちが顔をのぞかせたり、おしゃべりしたり、和やかな雰囲気です。5歳児が0、1歳児の部屋に遊びにいった、遊びを教えたり絵本を一緒に見たりして、本当の姉妹のような接し方をしている姿も見られます。小さい子どもが2人ぶつかったのか泣いていて、年上の子ども2人が一生懸命に頭をなでてなだめている光景もありました。自然な形で異年齢の子ども同士が交わっています。

各保育室には幾つかのコーナーが設定してあり、子どもたちは2、3人で、あるいは1人で、ままごと、ブロック、絵本、お手玉などで思い思いに遊んでいます。遊べずにポツンとしている子どもはいません。2～5歳児のグループは机に向かって塗り絵、お絵かき、朝から牛乳パックで熱心に工作をしている子どももいます。

8時半近くなると、ぞくぞくと親子がやってきます。保育士は子どもに手を振ったり、保護者と話したり、なかなか保護者と離れられない子どもには言葉をかけながら、輪の中に連れてきていました。9時近くなると、2～5歳児のグループでは絵本の読み聞かせが始まります。一呼吸置いて、気持ちを切り替えてから、それぞれのクラスに移動します。

0歳児クラス（だいち組）

この日は近くの公園に行きました。2月なので全員1歳を過ぎていて、2歳近い子どももいます。公園では低いならかな斜面のようになっている場所が人気で、保育士の見守りのもと、一生懸命に登り降りを楽しみます。降りる時はお尻をついて滑り降りるのですが、何回もがんばって、ついに転ばずに歩いて降りた子どももいました。意欲満々です。

園に戻ると3人の保育士の連携のもと、「ちょっと待っててね」という言葉は聞かれず、午睡までの時間が安全にスムーズに流れます。食事は手づかみやスプーンでどんどん進み、食べ終わった子どもは自分でエプロンをはずそうとしていました。手を拭いてもらい遊びコーナーへ行くと、保育士が待っています。一人二人と遊びコーナーの子どもが増えていきます。遊びがひとしきり盛り上がった後、保育士が「さんぼ」の歌を歌い出すと「歩くの大好き」という歌詞にあわせて子どもたちの顔が輝き、手拍子をとって歩き出しました。2人で手をつなぎ3人で手をつなぎ、輪のようになっていきます。手をつなぎたいんだけど...と躊躇している様子の子どものに、保育士が「『入れて』って言ってごらん」と助けます。「友だちと一緒に」が楽しくなっている子どもたちです。

1歳児クラス（そよかぜ組）

保育室は明るく、一方の壁が足元までガラス張りなので、子どもたちにも目の前に道路を見下ろせて、行きかう車や、登園してくるお友だちがよく見えます。玄関ホールに繋がる保育室の入口はいつも開いていて、開放的な雰囲気です。朝、散歩に行くまでの自由な時間、子どもたちは玄関ホールの金魚を見たり、他のクラスを覗いたり、しばらくすると自分から保育室に戻っていました。室内では布の袋に何やら詰めて歩き回る子どもたち。そのうちに6～7人が連れ立ってドアから出て行きました。すかさず保育士が「本屋さんはこっち」と室内の絵本コーナーに誘います。絵本コーナーで保育士と本の売り買いが始まったようです。

室内の片隅の目立たないところには低い棚で仕切ったコーナーに、オマルが二つ置いてあります。散歩の前に子どもは2人ずつオマルに座ります。出なくてもオマルに親しむ雰囲気です。保育士が最初だけ手伝って紙パンツに足を入れてあげると、あとは自分ではなく子どもがたくさんいます。自分のジャンパーを持ってきて袖を通し、靴下や靴も自分ではなく子どもがほとんどです。この日は2歳児と手をつないで散歩に行きました。

2歳児クラス（ふたば組）

子どもたちはままごと等のごっこ遊びが大好きで、簡単なゲームも楽しめます。公園では、砂場でケーキ作りをする子どもたち。サザンカの花を飾ってきれいなケーキができました。おしゃべりもはずみます。しっぼ

を付けてもらって「しっぽとり」ゲームに参加する子どもたちは、保育士の鬼から逃げて、駆け回って遊びました。アスレチックの階段や綱ばしごでは順番を守ります。保育士は遊びがあまりかちあわずに全体がうまく回るように気を配り、他クラスの子どもも見守っています。姉妹園の子どもたちが来て、アスレチックや砂場で一緒に遊びました。

散歩から帰るとトイレです。ほとんどの子どもはもう自分できちんとできます。順序良く手を洗い、トイレの履物をそろえる子どももいます。食事のときも、フォークを上手に使いこぼさずにしっかり食べています。食べ終わった子どもから順番に歯ブラシを口に入れていて、自分で磨こうという習慣ができてきていました。しかし、まだ上手に磨けないので保育士が磨いてくれます。その後は、着替え、午睡と子どもたちは生活の流れを理解していて、終わった子どもは自分から次の行動に移ります。自分でできることが多くなっていて、子どもたちが待たされることもありませんでした。

3 歳児クラス（うみ組）

朝の自由な時間、子どもたちはそれぞれが好きなものを持ってきて遊んでいました。一人であやとりをする子ども、仲良く並んで机に向かって座り、洗濯バサミを厚紙につけて何かに見立てて楽しむ子どもたち、そして最も多いのはブロックの見立て遊びです。何人もいっしょにブロックをつなげて列車に見立てて走らせたり、「魚だよ」と言って床を泳がせ、自分もいっしょに泳ぐ子どももいます。部屋中が楽しく盛り上がっていました。保育士が「お片づけ」と言うと、2~3人が大声で「お片づけだよ~」と皆にふれ回って歩きます。

この日の散歩は 4,5 歳児と一緒に近くの上信濃公園に行き、マラソンをしました。まず準備運動、そして 4 歳児の後から走りだします。広いグラウンドを 4,5 歳児は 2 周、3 歳児は 1 周します。がんばって走りきると、わざと芝生に倒れ込み、「ヤッター！」と満足気に声を上げていました。その後、4 歳児クラスの子どもたちに教えてもらって初めて「お引越しゲーム」に挑戦しました。こうして少しずつルールのある遊びに慣れ、自然に覚えていくようです。

食事の時には当番が活躍します。エプロンとバンダナを付け、両手でしっかりと食器を持ち、こぼれないようにしずしずと歩き、おつゆは右、ご飯は左、煮物はその上の方、と配ります。首をかしげて考えながら、一生懸命に配膳していました。

4、5 歳児クラス（そら組、たいよう組）

4,5 歳児クラスは登園時からずっと一緒に、朝の集会も一緒に、そしてこの日の造形活動も一緒にでした。朝の自由遊びの時間が終わって、それぞれの保育室に移動してからも、4,5 歳児は自由に行き来して遊んでいます。

朝の集会はマットに並んで座り、歌や手遊び、そして身体の名前を言うクイズです。難しい言葉を使っています。「眉間」「膝のお皿」という言葉も出てきます。リクエストの絵本を保育士に読んでもらおうと、もう造形の先生が到着しました。子どもたちはさっと机に向かって座ります。この日はクリアファイルの素材で半袖シャツ型に切ったものが一人ひとりに配られました。子どもたちはそれに大小 4 種類くらいの、様々な色の丸いシールを貼って好きな模様を付けます。できたシャツに工作用ポスターカラーをローラーで塗り、版画のように白紙に写します。その紙を色画用紙に貼って完成です。造形の先生と保育士の連携が良く、楽しく時間が過ぎました。

食事はそれぞれのクラスに分かれてとりました。給食は、苦手なものは先に保育士に言い、ちょっとだけ減らしてもらってもできるので、残す子どもはほとんどいませんでした。子どもたちが自分の食べられる量を自分でよそう時もあります。5 歳児クラスの子どもたちは食事をしながらよく話します。「給食はおいしい」「ハンバーグが好き、シューマイも」「たいようはもうお昼寝しないの」「それで 2 時まで絵本を見て、後は塗り絵とか静かな遊び」「造形教室は好き」「公園も好きだけど公園より好き」等と言っていました。子どもたちはよくしゃべり、そして人の話もよく聞いています。

まとめ

どのクラスの子どもたちも仲良しで人懐こく、元気でのびのびとしています。クラスは明るく楽しく、そして落ち着いています。保育士の連携は良く、クラスを超えた連携体制もできています。何かが始まる時や注意事項があるときは、子どもたちを呼んで揃えますが、終わる時は終わった順に対応する等、「待たせない保育」「一人ひとりに寄り添う保育」が観察から伝わってきました。

事業者コメント

第三者評価の感想

着任して4カ月での第三者評価の実施で、気持ちも重く戸惑うことばかりでした。

自己評価での取り組みでは、一つひとつ確認することによって、細かな認識の違い等が明確になり、全職員が再認識することができました。

今後の課題や改善すべき点が明確になったことで、全職員が力を合わせて、陽だまりのように温かい園を目指し、努力していきたいと思います。

保護者の皆様には、お忙しい中アンケート等、たくさんのご意見をいただきまして大変感謝しております。ありがとうございました。

評価のみでなく、丁寧にアドバイスして下さった、評価機関「市民セクターよこはま」の調査員の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

にじいろ保育園川上町

園長 加藤 絵里

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価・改善事業ユニット

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
